

12月3日(水)～9日(火)は障害者週間

～中井やまゆり園の新たな挑戦～

問合せ 福祉課☎(81)5548

障害者週間とは

障がいのある方についての理解を深めると同時に、障がいのある方が今まで以上に社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的に国が定めたものです。障がいの有無によって分け隔てされることのない社会を実現していくためには、障がいについて理解し、社会活動や日常生活の中で配慮や工夫をすることが重要です。

中井やまゆり園をご存知ですか？

中井やまゆり園は、町内にある県の施設で、重度障がいのある方の入居施設です。これまでの経験を経て、中井やまゆり園は、園内から町内をはじめとする、地域での新たな活動に挑戦しています。

ロマンティック農園が町内に増殖中！

ロマンティック農園とは、町内の「メルヘン畑」「マッスル畑」「麦畑」「みかん山」と名付けられた畑の総称です。利用者の方、地域の方、職員で農作業を行い、夏野菜、にんにくや大根、さつまいもやじやがいなどを作っています。今年の猛暑の中でも利用者の方は責任を持って、積極的に畑の管理に励みました。地域の方の助言やお手伝いも大きな支えになっています。



勝手に!?クリーン大作戦

町内の道路や厳島湿生公園などのごみ拾いや清掃活動をしています。グリーンテクなかい地区の企業の方々と定期的に作業をしています。また、町内だけでなく、秦野市の公園の里親となり公園を掃除したり、平塚などのビーチクリーン作業、インクルーシブビーチクリーンにも参加しています。



神奈川県ホームページ
インクルーシブビーチクリーン



まだまだあるー！新たな取り組み

馬糞を利用した着火剤の製作、コーヒー豆の選別、紙書き作業にも取り組んでいます。重度の障がいがある方が楽しく、そして一人ひとりの力を發揮できる作業を、職員が日々検討し、利用者の方も前向きに挑戦しています。



挑戦の中から見えてきたもの

これまでの中井やまゆり園の支援は、利用者の方が混乱することがないよう、なるべく刺激になることは避け、静かに園内で暮らすことが中心でした。しかし、地域の方に支えられ、利用者の方が地域で自分の力を発揮して様々な活動に取り組むことができました。これまで園内のみで過ごしていました。これで園内の活動が少なくなった頃より利用者の方の表情はずつと輝いています。その変化が職員の原動力となり、新たな挑戦が今日も続いていきます。

ともに生きる社会へ

中井やまゆり園の挑戦から、誰もがその人らしく地域で活動し暮らすことの大切さを知ることができます。これを機に、「身近な方やこどもたちと「ともに生きる社会」について考えてみてはいかがでしょうか。



ともに生きるかながわ憲章
ポータルサイト

ともに生きる社会
かながわ憲章

